

豊橋市民病院における HISとRISの涙

豊橋市民病院 放射線技術室 原瀬正敏

IHE-J Workshop in Kanazawa

豊橋市民病院



平成8年新病院移転

診療科:26科

病床数:910床

(44床結核感染病棟)

東三河地区第三次救急指定病院

IHE-J Workshop in Kanazawa

システム導入経緯

9年前の新病院移転時に一部の検査・処方に対してオーダリングシステムを導入



更新？

平成15年4月に将来的な電子カルテを見据え、病院情報システムを導入

IHE-J Workshop in Kanazawa

システムの導入の本音

- 思いつき
- 電子カルテがやってみたい
- そろそろ…



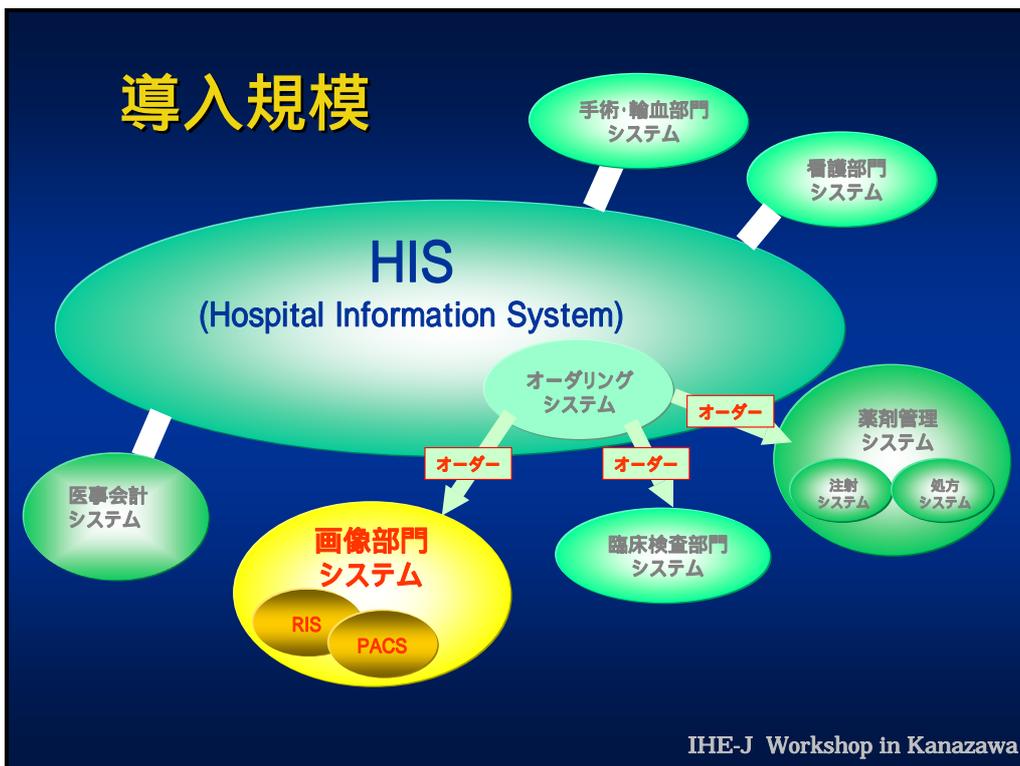
などなど



どんな障害があるのか…
考えてない

IHE-J Workshop in Kanazawa

導入規模



導入後の満足度

- メリット
 - 全くない
- デメリット
 - ほとんど



医療職員ほとんどが不快を感じている

- ◆ 電話予約はなくなる
- ◆ 紙が残りRIS実施入力と手書き伝票の継続
- ◆ 放射線業務以外の仕事が増加

⋮

IHE-J Workshop in Kanazawa

豊橋市民病院の苦悩

- HISの涙
 - 手書き伝票の生き残り
 - 予約オーダの非効率
- RISの涙
 - ユーザの不勉強
 - システム全体の把握
 - RISメーカーの人材



IHE-J Workshop in Kanazawa

手書き伝票

手書き伝票をなくしコスト削減・・・

だったのに・・・

- 医師にオーダ時には病名・コメント入力をお願いをしてきたが猛反発
- RISからの実施情報だけではコスト請求が正確に行えない検査がある

IHE-J Workshop in Kanazawa

手書き伝票

手書き伝票による弊害が……

オーダーリングはするが病名・コメントは手書き伝票に……



結果的に悩む人が

放射線科医師がレポート作成時に苦労を！！
RISデータにコメントがないため毎回伝票を見て打ち直し

IHE-J Workshop in Kanazawa

院内アンケート調査

「なぜオーダー入力時の病名・コメント入力を
していただけないのでしょうか？」

- マスターが多いため、クリック数が多くそこまでやろうと思わない
- 複数オーダーを行う際にオーダー毎にコメント入力しなければならない
- 入力するメリットがない

などなど

IHE-J Workshop in Kanazawa

予約検査オーダーリング

他検査などの予約の重複を防ぐため、
予約の取得はHISにて行う

予約オーダーはオーダーリングシステムの要！！

予約枠などに懲りすぎて
クローズ予約にしたことがアダに……



IHE-J Workshop in Kanazawa

予約検査オーダーリング

クローズ予約による苦悩……

- 第3者にて予約行為を行う
- 予約のための電話がいる
- 空き状況を確認するのが大変(クリック多)
- 空き状況の確認は現場の技師が行う

IHE-J Workshop in Kanazawa

システムによる効率化

結局……

システムによる効率化は図られてない



IHE-J Workshop in Kanazawa

HISメーカーへの要望

オーダリングシステムの考え方をシステム全体を考えた入力方法に！！

- オーダ発生源の医師はクリック数が多いことを嫌う傾向がある
- 予約検査オーダリングの入力方法をもっと効率よく行えるように
- 入力項目の必要なものからオーダ作りを求む

IHE-J Workshop in Kanazawa

RISの不勉強

どのように使うか知らない

- HISにできないことをやるシステム
- DICOM画像を出すために必要
- 患者属性を簡単に装置に転送できる



本質は効率化と業務統計ではないか？

IHE-J Workshop in Kanazawa

システム全体の把握

放射線情報システムだけ

考えてればよかったと思ってた……

そんなに甘くはなかった！！

- ✦ HIS-RIS間でのデータの授受の確認
- ✦ 医事システムで会計がうまくとれていなかった

きつうまくいくだらうと考えていた！！

IHE-J Workshop in Kanazawa

RISメーカーに人材がない

- 対応スピードが遅い
- SE主導権である
 - ✦ 病院運用の把握に時間が掛かる
- 知識が少ない
 - ✦ システム全体を把握できていない
 - ✦ アドバイスが少ない

IHE-J Workshop in Kanazawa

HISとRISの涙から

- システムメーカーには失敗例を集め、より良いシステムに勤めて戴きたい
- 先駆者やメーカーは後者に対してアドバイザー的な役割も勤めて戴きたい
- 最後に失敗をしてきた先駆者が伝えていかなければ、ITゼネコンがのさばるとされる

IHE-J Workshop in Kanazawa